



第 127 号  
平成20年 8月 1日  
発行 坂出市議会  
編集 議会だより編集委員会  
TEL 44-5022



瀬戸大橋記念公園のくくり滝

## 5 月臨時会

5月臨時会は、5月22日に開会し、議会人事を中心に進め、議長に綾宏氏、副議長に大前寛乗氏、議会選出の監査委員に植條敬介氏を選出しました。また、坂出市税条例の一部を改正する条例ほか2件の専決処分について承認しました。

## 6 月定例会

6月定例会は、6月12日から24日までの13日間にわたって開催されました。

今定例会に提案された、坂出市手数料条例の一部を改正する条例制定案を初め、平成20年度坂出市一般会計補正予算案など4議案について原案のとおり可決しました。

最終日には、3会派の議員より「後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書案」が提出され、採決の結果、賛成少数で否決しました。

▶ 5月臨時会 ◀

# 議長に綾 宏氏、 副議長に大前寛乗氏を選出



綾 宏 議長



大前 寛乗 副議長

## 委員会の顔ぶれ (H20.5.22正副委員長互選)

◎は委員長  
○は副委員長

### 常任委員会

#### 総務消防

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎中河 哲郎 | ○楠井 常夫 |
| 別府 健二  | 若杉 輝久  |
| 植條 敬介  | 綾 宏    |

#### 教育民生

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎東山 光徳 | ○錦 美弥子 |
| 松田 実   | 山条 忠文  |
| 吉田 耕一  | 木下 清   |

#### 環境経済

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎池田 睦雄 | ○前川 昌也 |
| 大藤 匡文  | 富岡 利昭  |
| 藤川 亘   | 稲田 茂樹  |

#### 都市建設

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎松成 国宏 | ○未包 保広 |
| 野角 満昭  | 大前 寛乗  |
| 葛西 吉弥  | 村井 友信  |

### 議会運営委員会

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎村井 友信 | ○稲田 茂樹 |
| 若杉 輝久  | 松田 実   |
| 山条 忠文  | 吉田 耕一  |
| 富岡 利昭  | 木下 清   |

### 議会だより編集委員会

- |        |        |
|--------|--------|
| ◎村井 友信 | ○吉田 耕一 |
| 野角 満昭  | 若杉 輝久  |
| 藤川 亘   |        |

# 一般質問

6月18日及び19日に行われた一般質問では、6名の議員が質問を行い、市長の政治姿勢をたどしました。主な内容は、次のとおりです。

## 質問の主な項目 (質問順)

吉田 耕一 (同志会)

- ごみ行政について
- ◎下水道布設計画について (西部小学校への下水道布設計)
- ◎企業誘致について (企業誘致の現状)
- 市立病院について
- 教育行政について

藤川 亘 (社会民主党議員会)

- ◎後期高齢者医療制度について
- ◎小中学校施設の耐震化について (国庫補助率の引き上げ及び県の事業費計上による本市への影響)
- 学校給食費について
- 監査請求及び情報公開制度の問題点について
- 政府の掲げるプライマリーバランスの黒字化目標がもたらした負担について

野角 満昭 (日本共産党議員会)

- 後期高齢者医療制度について
- ◎家庭ごみ袋の有料化について
- ◎農業再生と本市における振興策について (三金時を初めとする本市特産品の振興策)
- 障害者福祉について
- 学校・幼稚園・保育所の耐震化促進と財源について

若杉 輝久 (公明党議員会)

- ◎ソーシャル・キャピタル (社会関係資本) の充実について
- 指定収集袋有料化後の家庭ごみの量について
- 指定収集袋に対する市民要望について
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律について
- ◎青少年ネット規制法について

錦 美弥子 (同志会)

- 20歳の誕生日を迎えた瀬戸大橋
- ◎坂出市の家計簿 (これからの財政はどうなる)
- ◎市民の声を市政に (女性ヤングリーダーの養成)
- 坂出のお国自慢と豊かな心、文化の町づくり
- 「家庭の日」と「家族の日」について

葛西 吉弥 (黎明)

- 坂出市総合開発計画調査報告書について
- 本市の町づくりについて
- ◎室町谷内線について
- ◎バス路線について (角山温水プールへ経由してはどうか)

◎について質問とその答弁を掲載しています。

### 西部小学校への下水道布設計画について

**質問** 現在、坂出市内の学校再編が教育委員会において具体的に進められており、ここ5年以内に西部小学校と中央小学校の統廃合が計画されていることは、市広報でも別紙で各戸配布され、市民周知が図られている。統合小学校が現在の西部小学校になることも十分考えられるが、西部小学校には下水道がまだ布設されていない。

**再編**の計画では5年と期限が設けられているが、もし、現在の西部小学校に統合小学校ができることになれば、下水道の布設は間に合うのか。その計画を伺いたい。

**答弁** ……都市建設部長  
本市の公共下水道整備については、下水道事業経営健全化計画に基づき、経済的かつ効率的な事業の執行に努めています。

西部小学校への下水道布設については、小学校直近のJ R南側側道まで汚水幹線の整備が完了していますので、西部小学校を含めた白金町や八幡町等の下水道整備を計画的に進めていく必要があると考えており、地域住民の方々の下水道に対する要望が多いことも踏まえ、今後、下水道整備の時期及び手法についての検討を進めていきたいと考えています。

### 企業誘致について (企業誘致の現状)

**質問** 本市では、本年4月1日より、企画課内に企業立地推進室が設置されたところである。

4月に始まったばかりのことであるから、具体的な話でなくてもかまわないが、本市のPR状況など、県との連携も含めた誘致活動の現状と展望はどうなっているのか。

**答弁** ……総務部長

ここ2ヶ月間の活動内容としては、工場立地法の規定による特定工場を初めとする30社を訪問し、製造内容や操業上の課題等についてのヒアリングを実施しました。

また、県においては、県内行政が

一体となって効率的に企業誘致活動を行うことを目的として、香川県企業誘致推進協議会が設置されています。さらに、県は各市町へ立地希望企業への問い合わせをしており、本市からも、継続的に地権者の意向を確認する中、都市計画法等の各種法律との整合性等を考慮しつつ、候補地の提供を行っています。

今後については、県や商工会議所等の関係機関と連携しながら、市域外から新しく工場を誘致することにとどまらず、これまで地域産業を支援してきた既存の工場を支援し、地域の活性化、豊かな町づくりに向けて活動していきたいと考えています。

健康保険料削減の進捗状況について

**質問** 不安や不満、不信や怒り百出の後期高齢者医療制度の問題点を質す。

①政府は医療費を抑え込むため、病気になるがちな75歳以上の老人を今までの国民皆保険から排除。別組織にした。

②今までの世帯ごとの保険料を各人負担に。扶養者年金月額3万円以下の妻・母等も有料に。その数103万人(うち女性が9割)、年金から天引きされては生活できない。

③保険料は、2年毎に見直す(値上げする)。厚労省資料によると、団塊の世代が75歳に達する2025年の分担率は現在の10%が13.2%に。平均

保険料も今の2.2倍の1人当たり16万円となる。

④国民健康保険にはない診療抑制の数々の仕組み。

・定額制による月額6千円の高齢者診療料

・早く退院を促す退院調整加算金1件当たり1千円

・がん患者等に対する非情な終末期相談支援料1件当たり2千円

・統合診療ができにくい1医師による担当医制度等々

**答弁** ……市民部長

これらの改正は、現役世代との負担の均衡を図るとともに、医療費を適正化するための方策

**答弁** ……環境経済部長

**質問** ごみステーションへ指定収集袋以外での搬出があった場合、どのような対応をしているのか。指定収集袋以外でも回収することや、自治会へ事前に一定量の指定収集袋を交付して協力をお願いするのが適切ではないかと思うが、どうか。

さらに、低所得者、紙おむつ等の排出の多い赤ちゃん家庭、寝たきり高齢者家庭等へ一定量のごみ袋を無料配布すべきと考えるが、市の考えは。

ごみステーションへの指定収集袋以外での搬出については、有料化直後の4月上旬には、周知が十分に行き届かず、自治会等の現場では混乱があったと聞いています。お世話いただいている方々には大変ご苦労をおかけしました。が、細やかな指導のおかげで、回を重ねることに混乱も少なくなってきました。自治会の方々には、今後ともご苦労をおかけしますが、

として実施されたものです。

既に、本年4月より70〜74歳の方の負担が1割から2割に改定されていますが、経過措置として、今年1年間は引き上げられた1割分を公費で負担しており、実際の窓口負担は変わっていません。なお、この公費負担措置については、延長を行うかどうかを国において検討しているところです。また、年金からの天引きの問題については、6月12日の政府・与党協議会の決定で基準を設け、口座振替による普通徴収との選択が可能となるよう改善が加えられる予定となっています。

ごみの排出は各家庭の問題でもありますので、市としてはさらに周知を徹底し、ご理解をいただくよう努めてまいります。

また、低所得者、紙おむつの大量消費家庭、寝たきり高齢者家庭等への指定収集袋の無料配布については、排出に応じた負担をしていただくことで、ご理解をいただきたいと考えています。

小中学校耐震の進捗状況について

**質問** 政府は、今回の中国四川大地震による学校建物の倒壊で多くの子供が犠牲になったことを受け、学校施設耐震化の国庫補助率を、従来の耐震補強2分の1・改築3分の1から、耐震補強3分の2

・改築2分の1に大幅に引き上げることを決定した。また、県は今年度予算に初めて、小中学校の耐震化促進事業費2億2千万円を組んでいる。これらは、坂出市立小中学校の耐震化事業にどう影響するのか。また、従来計画されていた本市の耐震化目標を明示し、国庫補助率の引き上げ等が、本市の耐震化率をどの程度押し上げるのかを示せ。

**答弁** ……教育部長

国庫補助率の引き上げ措置と県の耐震化促進事業による本市への影響については、今年度予定している松山小学校及び瀬居中学校の体育館の耐震化等工事について、昨年度実施した両体育館の耐震診断の結果を踏まえ、現在把握できている範囲での試算では、2校合わせて国庫補助金が1千万円余り増加し、ほぼそれに見合う起債発行額や一般財源が抑制される見通しです。

本市の従来計画については、昨年12月に策定した坂出市公共施設耐震化計画の中で小中学校については、平成27年度までに、統合による新築校舎を建設する方針の2校を除き、小学校8校及び中学校4校の耐震工事を実施し、小中学校施設の耐震化を完了させる目標を立てています。

なお、6月13日に文部科学大臣から「学校耐震化加速に関するお願い」が発表され、特にリスクの高い施設について、政府は5年以内の耐震化を図るとしているが、文部科学大臣は「原則3年程度」を目標に取り組んでほしいという要請になっています。

このことから、この措置が3年間又は5年間に限定される可能性があり、残る耐震化予定施設のすべての耐震診断を短期間で行わなければならない。そうすると、多額の経費を留意しなければならず、学校施設等を前倒しすることによる計画全体への影響を検証する必要があります。したがって、今後、補助金等特定財源の算出について十分確認するとともに、関係各課と協議しながら検討していきたいと考えています。

# 農業再生と本市における振興策について (三金時を初めとする本市特産品の振興策)

**質問** 金時人參等に不可欠な客土事業については、海砂にかわる山砂が有効との結果が出ています。実用化の見通しや生産能力、価格はどうかについてのか。農家やJAからは、客土事業への支援策を求める声が強くなる。市として、どう考えるのか。

また、金時人參等は関東ではまだまだ知名度が低い。小原紅早生を含め、今後どのようにPRしていくのか。

**答弁** ……環境経済部長

金時人參等に必要な客土については、岩石を砕いた砕砂(さいさ)にマグネシウム成分を加えることにより、既に採取が禁止となった瀬戸内海の海砂と同等の効果が期待できることが分かり、経費についても10アル当たり12万円程度と、海砂と同程度であると試算されています。今後は、客土が必要な場合、この砕砂を推進していくこととして

ています。

また、売り込みのPRについては、金時人參や早掘甘藷ではJAが主体となり、スーパーやデパートでの試食や販売コーナーののぼりの設置・生産者による店頭販売等を実施しており、この経費の一部を市単独で補助しています。小原紅早生については、高級イメージを付加した贈答用としての販売をJAが実施しています。

# ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の充実について

**質問** ソーシャル・キャピタルとは、1993年にアメリカの政治学者ロバート・パットナムによって研究が深められた「住民同士、あるいは組織同士の協調行動を活性化し、互いの信頼関係を深めること」によって、社会の効率性を高めることができる」とする概念である。

本市でも、今後策定する施策には、このソーシャル・キャピタルの視点を導入してはどうかと思うが、市の考えは。

**答弁** ……総務部長

本市では、従来より、地域における防災活動を初めとして、環境美化、防犯等における地域コミュニティの使命を重要視し、あらゆる施策の基本になるとの認識のもとで、近隣互助の精神に基づき、助け合いながら生きる地域社会の構築を目指しています。近年では、地域における自主防災組織の結成等を初めとして、地域コミュニティが形成されつつありますが、その

一方で、自治会への加入率が昭和57年度の87%から年々低下し、平成18年度には74%となつているのが実情であり、こうしたことの抜本的な対応策がなかなか見当たらない状況にあります。今後とも、こうした現状を認識しつつも、地域活動の中心を担う自治会等を引き続き積極的に支援し、豊かな地域社会づくりに努めてまいります。

# 青少年ネット規制について

**質問** 今年の6月に「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」いわゆる「青少年ネット規制法」が成立した。

私は個人的には、青少年によるネット犯罪やいじめ等については、法律で規制する前に、学校や家庭の教育でできることがあるはずと考えているが、この法律について教育長はどのような感想を持っているのか。

があるとしてメディア業界等の反発があります。また、罰則規定が盛り込まれていないことから、強制力がなく、事態が何も変わらないという懸念や批判もあります。しかしながら、子どもたちをネット犯罪から守るためには、一定の規制や対策は必要ではないかと思っています。この法律でも3年以内に見直すとしていますが、状況をより良く改善するための議論は、今後とも不可欠であり、利便性と危険性が裏腹のこのネット技術について、親や大人が、子どもとどう向き合うかが試されている問題ではないかと考えています。

また、現在は携帯電話を利用したネット接続が急速に増えている。規制もある程度は必要かもしれないが、子ども自身が適切に活用する能力を身につけることが第一であり、学校や家庭での的確な指導が重要である。

そのためには、まず携帯電話やコンピュータの所有の有無を含めて、その利用実態の把握が急務であると思うが、市の考えを伺いたい。

**答弁** ……教育長

この法律に対しては、有害情報を国が規定していることや事業者の登録制という形での国が関与する余地があることから、表現の自由への悪影響

は、学校現場では既に、日本PTA連絡協議会等が行っている携帯電話の利用状況調査結果を参考にしているほか、一部学校では独自調査を実施し、学校における指導に活かしています。今後、法律の施行に伴う地方公共団体が果たすべき具体的な役割を把握するとともに、ご指摘の携帯電話やパソコンの利用実態等の調査方法も含め、適切な対応ができるよう検討してまいります。

市民の風や民声(女性ヤングリーダーの育成)

質問 本市では現在、各地域で活動・活躍している女性の方がたくさんおり、そうした皆さんの活動によって、地域が活性化している面も大きい。町づくりに女性の視点や感性は大変重要であり、男女共同参画の時代を迎えた今、女性の力は、ますます重要になっていくと思われる。

協働による町づくりを鋭意推進している本市においては、女性の意見を聞き、反映させていくことは、大変有意義かつ有効であると考え

が、自分の意見を積極的に言える女性はなかなかいない。そこで、本市の次代を支える女性ヤングリーダーを養成する機会、場を設けてはどうかと思うが、市の考えは。

答弁 ……総務部長

市民の声を反映させた市政の一層の推進のためには、性別にかかわらず、若年層の意思・意見等の反映も重要であり、地域や職場等あらゆる場面で、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の

実現に向けた取り組みが必要

です。県では平成20年度より、地域リーダーの養成を目的として男女共同参画自主企画研修支援事業を実施しており、国では「男女共同参画ヤングリーダー会議」を開催している

ところで、本市においても、各種制度の活用や周知等、リーダー育成に向けた方策を今後とも十分研究・検討して、実施していきたくと考えております。

室町谷内線沿線の沿線

質問 昨年の6月27日に行われた公聴会及び11月19日に行われた地元説明会の内容と結果、そして、そこで示された関係地域の市民の声をどのように理解しているのか。

また、室町谷内線の沿線では、これから店舗が増えにくく考えているのか。

答弁 ……都市建設部長

昨年開催した公聴会は、公述人の意見を聴く場でありまして、2名の方の意見陳述を貴重なご意見として承り、坂

出市都市計画審議会へその要旨を報告しました。なお、地元説明会については、当日54名の出席がありました。市民の皆様には様々な考えをお持ちの方がおられますが、公共事業というものは、市の将来を大局的な立場で考え、必要と判断されるものを着実に進めていくものであると理解しています。

また、沿線の商店街等の転廃業についてですが、最近の商業環境は大変厳しいものがあります。その上、沿線にあ

市民の風や民声(市債の発行)

質問 本市は、財政力指数が高いのとは反対に、実質公債費比率や、毎月確実に支払わなければならない人件費・扶助費や公債費等の固定的に支出される経費である経常収支比率が高くなっている。平成18年度末で22億円ある市債発行額を減少させることは、大変重要なことであると思う。

本市では、一般会計の市債残高を2010年代の早い時期までに200億円を下回ることを目標にしているようだが、その見通しは。

最近、番の州に立地している複数の企業の設備投資や増設が進んでいるなど、明るいニュースもある。本市の今後の財政見通しは、どうなっているのか。

答弁 ……市長

例えば、公共施設の耐震化事業等、どうしてもやらなければならない仕事は、着実に計画して、実行しなければなりません。

そういう中で、いかに中長期的に借金を減らして、実質公債費比率を他市並みに下げていくかという視点は、決して崩してはならないことです。

そういう思いを持って、いま財政を組み立てていますので、皆様方にもご協力をお願いしたいと思います。

答弁 ……総務部長

市債残高については、今後想定される普通建設事業費から市債の発行を見込み、さらに臨時財政対策債や退職手当債の発行も考慮し、平成22年度末には、一般会計の市債残高が200億円を切るという見込みを立てています。平成19年度末の一般会計の市債残高についても、ほぼ想定内の約23億円になっており、今後においても計画通り進捗する、また、そうしなければならぬものと考えています。

今後の財政運営においては、普通会計のみならず、港湾・下水道の特別会計等すべての連結ベースでの財政健全化が必要となります。

国・地方を問わず非常に厳しい財政状況の中で、今後とも苦しい財政運営が続くものと見込まれますが、連結ベースでの財政健全化を推進してまいりたいと考えています。

### バス路線について (角山温水プールへ 経由してほしいか)

**質問** 昨年「サテイ」のスポーツジムが閉鎖され、これまで常時プールを利用していた人たちが困っている。角山温水プールを利用するにも車がなければ行けないため、巡回バスの運行を願っている。

そこで、バス路線を角山温水プールへ経由してはどうかと思うが、市はどう考えるのか。

#### 答弁 : 環境経済部長

市内のバス路線については、民間バス事業者の琴平参宮電鉄が事業主体で4路線7系統運行しています。事業者へ尋ねたところ、経路変更に関する要望は、この地域に限らず、他の複数の地域からもあるようです。

個々の事情は推察されませんが、乗客数の見込みや採算性、さらには市内全域での交通体系整備等を踏まえた検討が必要であると考えております。



## 教育民生委員会

### ▼福祉医療費助成条例の一部改正案等4件を了承

県の要綱改正に伴う坂出市福祉医療費助成条例の一部改正案の審査過程において、委員より、今回の県の要綱改正に伴う県内各市の対応状況をただしたところ、当局からは、心身障害者医療費助成及び母子医療費助成に係る自己負担については、6市が市民税の課税・非課税にかかわらず助成を実施し、心身障害者医療費助成の所得制限については、すべての市が設けているが、助成対象については、1市を除きすべての市が新規助成に年齢制限を設け、65歳未満で新たに心身障害者に認定された者としていたるとの答弁があった。

これに対し委員より、本市も新規助成の対象に年齢制限を設けているが、これまでは年齢に関係なく助成を実施してきている中、県の要綱改正に伴う県費補助の減額により、今後、これまで同様を実施することが財政状況の厳し

## 委員会の動き

い本市においては非常に困難であることは理解できるが、近隣では年齢制限を設けていない自治体もあることから、市民福祉の増進に取り組みことは市民に一番身近な自治体としての当然の責務であるとの考えを示した上で、年齢制限の撤廃に向けた可能な限りの取り組みを求める意見があり、審査の結果、異議なく原案を了承した。

また、坂出市手数料条例の一部改正案、平成20年度的一般会計及び国民健康保険特別会計の補正予算案の計3件についても、審査の結果、異議なく原案を了承した。



### 陳情書

○農業委員への女性登用に関する要請書

○緩衝緑地帯再生についての要望

○J-R坂出駅周辺の整備についての要望

○貴議会における「国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書(案)」採択の要請について

○過剰な農薬取締法により、植物からなる、農業用有機資材を締め出す不法な行政指導の改善を求める意見書

### 視察来庁記録

5月

13日 埼玉県蕨市  
(包括外部監査について)

14日 北海道室蘭市  
(市民美術館の運営について)

7月

11日 愛知県豊田市  
(市民広場整備事業について)

16日 新潟県佐渡市  
(市立病院の経営再建について)



# 会議日程

◆5月臨時会  
22日本会議(提案説明)  
(質疑・討論・採決)

◆6月定例会  
12日本会議(提案説明)  
委員会(議会運営)

13日  
～休会

16日  
17日本会議(議案質疑・委員会付託)

18日本会議[一般質問(個人)]

19日本会議[一般質問(個人)]

20日委員会(教育民生)

21日  
～休会

23日

24日議員総会

本会議(委員長報告)  
(質疑・討論・採決)

## 5月臨時会で

### 同意した人事案件

◎坂出市監査委員

植條 敬介

◎坂出市職員

懲戒審査委員会委員

大前 寛 乗  
中河 哲 郎

## 永年勤続議員表彰

第84回全国市議会会議長会定期総会において、永年勤続者として本市議会から2名が、また第70回四国市議会議長会定期総会において、本市議会から3名がそれぞれ表彰されました。

## 全国市議会議長会表彰

特別表彰  
議員在職25年以上

東山 光徳

一般表彰  
議員在職15年以上

池田 陸雄

## 四国市議会議長会表彰

一般表彰  
正副議長在職3年以上

稲田 茂樹

東山 光徳

香山 良平

## 6月定例会で

### 推薦決定した人事案件

◎坂出市農業委員会委員

富岡 利昭

中河 哲郎

木下 清

東山 光徳

# 暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞などのあいさつ状を廃止しておりますので、紙上をもってごあいさつにかえさせていただきます。

市民皆様のご健勝をお祈りします。

坂出市議会議員一同



## 編集後記

「生まれたばかりの子どもは、完璧に二四時間要介護である。(中略)人間の一生は介護生活から始まり介護生活に終わる。」

人間は他とのかかわり合いなしでは生きていけないという雑誌記事の一節だが、妙に納得してしまった。これを基に市民協働、男女共同参画、子育て支援、高齢者福祉の質問を…と手帳に手が伸びる。

「議員たる者、常にアンテナを張り巡らし、市民生活向上に心がけよ。」とは、今は亡き大先輩の弁。

今定例会でも私なりの立場で張り巡らせたアンテナでキャッチした皆様の声を市政に生かすべく、一般質問に立たせていただきました。

今後とも皆様の信任に答えられるよう、アンテナの精度を高めてまいりたいと思っております。(輝)

議会だより編集委員会  
委員長

村井友信

野角満昭

藤川 亘

副委員長

吉田耕一

若杉輝久